

状況に合わせた目標を



【問い】 自宅で人工呼吸器をつけた6歳の子どもの看護を行っています。胃ろうで栄養を取っていますが、できれば少しでも口から食事を取ればと思っています。どうしたらよいですか？（長崎市、48歳女性）

胃ろうの子に食事取らせたい

【答え】 ご家族としては、

お子さんに食べ物のおいしさを少しでも伝えたいという気持ちを持ちつつは当然のことだと思います。しかし、病院から自宅に戻られる時点で口から食事を取るのには難しいとの判断があり、必要な食事を確保できるように胃ろうをつくられたのだと思います。お子さんの疾病の状況にもよりますが、栄養を取る目的で経口摂取（口から食事を取る）を求めていくことは、なかなか難しいのではないのでしょうか。ただ、お子さんはまだ成長の途中であるという意識が大切です。体と共に、お口もまたしっかり成長していきま

この時期に保護者が積極的に関わる方法としては、お口を自分で動かすことができない状態であれば、舌や頬をマッサージすることや、歯と歯を合わせて口の開閉運動をしたりすることは、口の成長への刺激になります。胃ろう前に果汁などで舌に刺激を与えることで、胃の運動を促進する効果もあるようです。

一方、少しでも口腔の動きを認める状態であれば、歯肉のマッサージやキャンディーなどの甘味の刺激を与え、嚥下（のみ込み）を促していく訓練をすることがよいでしょう。

経口摂取ができないお子さんも、永久歯への交換の時期に乳歯のぐらつきが当然生じてきます。歯肉の炎症、むし歯の有無も含め、口の機能の発達状況を歯科の先生に確認してもらいましょう。通院が難しい場合は訪問診療で対応できる医院もあります。その中で、お子さんの状況に合わせた経口摂取のゴールを決めてはいかかでしょうか。

回答者

つのまち 角町 鎮男

長崎市出来大工町
歯科小児矯正歯科
つのまち医院 院長



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。